

科目名 診療画像技術学実習 I

1 単位 30 時間 昼間部 1 年 後期 担当講師 天野友香、河合繁、井上一雅

教育目標

放射線技師に関する基礎知識を教授し、診療画像技術学に関する基礎的実験を行い、理論を理解させ、応用に結びつけさせる。

使用教材 各実習の配付資料

推奨参考資料 放射線検査学（X線） 山下 一也 通商産業研究社

診療放射線技術（上巻） 立入 弘 南江堂

一回あたりの学生数 3 / 5 クラス 班の構成 5 班 一班あたりの学生数 7 ~ 9 名

出欠確認方法 点呼 試験 無 評価方法 レポート、実習態度、その他

授業概要（後期）

1 回 ガイダンス

①増感紙の特性、X線画像のROC

②胸部X線撮影および体幹部X線撮影

③散乱X線の測定、散乱X線の除去

2 回~14 回 各班に分かれて①~③を実施する。 15 回 予備日

【実務経験】

診療放射線技師として大学病院に 20 年間勤務。医療機関での実務経験をもとに、実習を通じて X 線画像の成り立ちで重要な散乱線について教授します。 河合

診療放射線技師として大学病院に 3 年間、画像センターに 5 年間勤務。医療機関での実務経験をもとに、診療放射線技師が行える各検査の概要および知っておくべき基礎知識について話します。

天野